



問い合わせ：SHOEI ☎03・5688・5180  
http://jp.shoei.com/

# FULLFACE SHOEI

## 最新モデル Z-7 に迫る

圧倒的な軽さとコンパクトさに定評あるZシリーズに、最新作の「Z-7」が登場。全面リニューアルを果たし、SHOEIの持てる最新技術を注入した意欲作だ。Z-7を通して、同社、そして日本ならではのモノづくりが見えてきた。

### 今

春頃発売予定の最新作、Z-7にはSHOEIのモノづくりに対する姿勢が実によく反映されている。Zシリーズのコンセプトである、軽さと小ささを一段と進化させるとともに、静けさ、空力性能、ベンチレーション、フィット感とあらゆる快適性を向上させた。

「安全性と快適さを突き詰めることがSHOEIの2大テーマです。その上で、他にできないことをやる。これが我々のモノづくりのポリシーです」と開発部長の堀本さんは語る。

「我々は、快適さを高めることが、もう一つの安全性だと考えています。疲れにくく、快適なヘルメットを被ることで、ライディングの集中力が高まり、事故を減らすアクティブセーフティにつながります。世界的にも、軽くコンパクトで快適なヘルメットを求める声は年々高まっています」堀本さん

快適さを高めるために、涙ぐましいほどの創意工夫が凝らされている。左ページに詳しいが、額左右のダクトは内部への浸水をシャットアウトするため、水を外側へ排出する微細な溝と穴を設置。シールドを密着させ、静粛性を高めるQRSは「Q・R・E」とし、スプリングを強くして密着性をより向上させている。

「ウインドウビディングも新たな試



安全性とデザイン、機能を高次元で融合したフォルム。サイド下端のくびれは、軽快感を演出すると同時に、着脱時のスムーズさや、後方確認など首周りの運動性も高めている。



「快適性も安全の一部」と言うSHOEI。ウインドウビディングのちょっとした突起も、ちゃんと防水性をねらうという理由があるのだ。

みです。曇りを取るための通気口を持たせながら、防水性を確保するための形状を採用しました。フチゴム裏にわずかな突起がありますが、これはシールド上部の雨水の侵入を防ぐ役割があります。地味ですが、こだわる人にはわかってもらえる仕組みが至る所にあります」(堀本さん)

前作で好評だったエアロフォルムにも一層磨きをかけた。ドラッグ(後方に押し付けられる力)はZ-6比でマイナス5%、リフト(浮き上がる力)はマイナス1%を実現した。

「ドラッグを下げるとリフトが上がってしまおうなど、バランスを取るのが困難でしたが、自社の大型風洞実験設備で繰り返し検証を重ねました。形だけのエアロフォルムと、実際に風洞実験を行って開発された製品とは、被ってみれば明らかに違います」(堀本さん)。

データを現物に反映させる職人技、工場での組み立てといった様々な精度が向上し、ほぼ理論どおりのモノづくりが可能となった。とはいえ、性能を向上させるため、年々テスト項目は増大しており、風洞施設や実走テストで、膨大なトライ&エラーを繰り返す。堀本さんは「テストが増えてもダイレクトに価格へ反映させるわけにはいきませんが、最終的にコストは度外視です(笑)。とにかくいいものをつくるのが第一です」と話す。

そして、Z-7は見た目にも斬新だ。特に、帽体サイド下端の大胆なカットラインと、後頭部のポリウムあるフォルムに目を惹かれる。デザインスケッチを拝見したところ、ほぼスケッチと製品版が同じだったことに驚いた。

デザインを担当した志田さんは、「SHOEIは安全を第一にした上で、形の美しさを追求しています。近年、様々な精度が向上したため、デザインもより大胆に自由に提案できるようになりました。今回のZ-7も90%以上スケッチが再現されたと自負しております」と語る。

デザインと機能が両立しているのも特徴で、「特にサイドのラインは、小ささを演出すると同時に、帽体を広げて被る際の窮屈感を和らげる効果があります」と志田さんは話す。

高級ヘルメットの売上高で世界1位を誇り、海外でもG.T.A.やJ.C.F.が人気な大ヒットするなど、販売好調なSHOEI。かゆい所にまで手が届く、日本らしいモノづくりが世界で評価されていることの証だろう。その最先端を走るZ-7は、大阪&東京サイクルショーで披露される予定。ぜひ手に取ってみて欲しい。



志田真之氏

商品企画本部造形部クリエイティブディレクター。「Z-7は、以前ならできなかったデザイン。精度が進化したおかげです」



堀本隆行氏

開発部部长。製品開発の陣頭指揮を執る。「他社より先をいくものをつくりたい。Z-7には、SHOEIのこだわりが詰まっています」



## さらに軽くさらに小さく

# Z-7

JIS  
SG

●税抜き価格：4万5000円 サイズ：XS、S、M、L、XL、XXL 色：白、黒、艶消し黒、灰、赤、黄

### 初

代のZ-3以来、究極の軽量コンパクトを追求してきたZシリーズ。新たなZ-7は、帽体からシールド、内装まで全てを刷新した。シェルは、ガラス繊維を基に有機繊維を複合積層化した同社独自のAIM構造で、剛性弾性と軽さを両立。さらに、パーツ一つひとつの軽量化を促進した。帽体のサイズは、従来の3〜4種類とし、XSとSに一層小さい帽体を用意。小柄なライダーの負担を軽減してくれる。

空力性能を高めたことで首の疲労を一段と和らげつつ、静粛性も格段に向上した。洗練のエアフォームと共に、スプリングでシールドベースが後方にスライドする「Q.R.E」システムで風切り音を最小限にカット。発生した風切り音は、上と横のリップ形状を独立させた窓ゴムや、音の侵入を防ぐ内装、イヤーパーツで、二重三重に抑制する。

またシールドを全閉するとノブ裏側のフックでロックされる新機構を採用。さらに、ダイヤルでシールドベースを前後方向へ5段階調整できるシステムも備え、密閉に一役買う。その結果、100km/hでの風切り音は全周波数でZ-6より静かになっている。

内装は、従来の3DフルサポートインナーIVをベースに、抑えの位置や形状を変更。しつとりと包まれ、大人に好まれる「ジェントルフィット」を目指したと言う。水が浸入しないパンチング風レザーや、赤のアクセントも小粋。シールドベースのカーボン柄など、細部の質感向上も見逃さない。

この内容で、価格は従来型Z-6から3000円アップに抑えた。しかもZ-6には付属しなかったピンロックシートを同梱しているため、実質値上げなしと言える。買い得感は抜群に高い。



フル着脱式の内装は、吸水&速乾性に優れた東レ製の高放湿性ナイロン素材「quup」(キューブ)を類などに新採用。擦れやすい部分には起毛素材を配した。赤いメッシュ素材もスポーティだ。

新開発のCWR-1シールドは、リブを下部にも追加。剛性を高め、風圧や開閉時のたわみを解消する。ダイヤルを回せばシールドベースが最大1mmスライドし、密着性アップが可能。



### グラフィックモデルも多数スタンバイ!

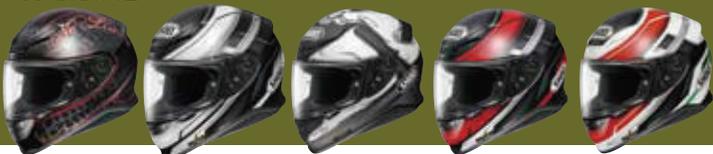
'14春発売予定

各5万3000円(税抜)



'14夏発売予定

各5万3000円(税抜)



額中央に、Z-6にはなかったエアインテークを新設。特徴的な左右ダクトと合わせ、ライナー内部まで走行風をストレートに導入する。



4か所のホールから効果的に熱気を排出する新型エアアウトレット。スポイラーの役目を兼ね備え、高速走行時の安定性に貢献する。

Z-6では、左右ステンメッシュ+内側シャッターの口元ベンチレーションを採用していたが、よりシンプルで機能的なデザインに。



耳元のスペースを広めに確保。さらに静粛性を高めるため、着脱式イヤーパードとパンチング加工を施した樹脂プレートも新採用した。

FULLFACE  
SHOEI

# X-TWELVE

- 税抜き価格：5万4000円(単色)
- サイズ：XS、S、M、L、XL
- 色：白、黒、銀、灰、艶消し黒

- SNELL
- JIS
- MFJ公認
- SG

## 全てに究極を求めたプレミアム仕様

SHOEI最高峰に君臨するレーシングフルフェイス。風洞実験や走行テストを重ね、あらゆる面での究極を目指した。帽体は、強靱なガラス繊維などで造り上げた複合積層構造に、高性能有機繊維をプラスしたAIM+構造。これに、後頭部からサイドまで回りこむ独特な形状のエアロエッジスポイラー2を組み合わせ、圧倒的な高速安定性能を実現している。ベンチレーションも非常に充実しており、従来型XElevenから2倍以上の換気能力を達成。さらに、全閉時にシールドを圧着するQRSASystemで、雨風の侵入や風切り音の発生を防止する。モトGPをはじめ、世界中のレースで活躍し、グラフィックも豊富に揃う。曇り止めのピンロックシートを同梱。



**DAJIRO**  
6万5000円



**KIYONARI**  
6万5000円



**KAGAYAMA2**  
6万5000円



**YANAGAWA2**  
6万5000円



**MARQUEZ**  
6万5000円



**MONTMELO MARQUEZ**  
6万5000円



# XR-1100

- 税抜き価格：4万4000円(単色)
- サイズ：XS、S、M、L、XL、XXL
- 色：パール白、白、黒、灰、艶消し黒、赤

- JIS
- MFJ公認
- SG

## 空力性能に優れたオールラウンダー

欧州をはじめ、世界中のライダーに支持されているモデル。最大の特徴は、アゴからはじまるエッジラインが後頭部へ伸び、そのままスポイラーを形成する一体型エアロフォルム。さらにシールド下端に気流を制御するテールフィン3などで総合的な空力性能を向上させ、高速走行時のドラッグやリフトを軽減している。様々なライポジで効率的な換気を実現する4か所の排気ダクトも自慢だ。内装はフル脱着式で、表面生地には高い吸水速乾性を持つHYGRAを使用。帽体には、剛性と軽さを両立したAIM+構造を採用し、可変軸WアクションのQRSASystemや、シールドロック&微開が簡単なプリセットレバーも備える。ピンロックシートを標準装備。

**PLUGIN**  
5万2000円



**SKEET**  
5万2000円



**SEILON**  
5万2000円



**DIABOLIC FEUD**  
5万2000円



**HADRON2**  
5万2000円



**TANGENT**  
5万2000円



# GT-Air

■税抜き価格：4万8000円(単色)  
■サイズ：S、M、L、XL、XXL  
■色：白、黒、灰、艶消し黒、赤、ガンメタ

JIS  
SG



REGALIA  
発売予定

## デザインと機能が光るツアーモデル

歪みの少ない内蔵サンバイザーを備えたツーリング向けヘルメット。帽体はAIM+構造で、衝撃吸収ライナーの厚みをキープしながら、帽体が大きくならないようシェル形状を工夫した。また、エアロフォルムとフィット感の高い着脱内装、音を意識したベンチレーションによる高い静粛性も自慢だ。ワンタッチ式で使い勝手抜群のラチェット式バックルは、剛性の高いステンレス製。常に2か所のツメが引っかかる仕組みで安全性も高い。ピンロックシート同梱。

JOURNEY  
5万6000円



INERTIA  
5万6000円



WANDERER  
5万6000円



# NEOTEC

■価格：5万8000円(単色)  
■サイズ：S、M、L、XL、XXL  
■色：白、パール白、黒、艶消し黒、灰、ガンメタ

JIS  
SG



## サンバイザー付きの上質システムメット

チンガードを跳ね上げられるシステムヘルメットで、欧米のサングラス規格に適合した歪みのないQSV-1サンバイザーも内蔵。システムタイプは大きく重くなりがちだが、フェイスカバーとシールド軸の同一化などで、スマート&コンパクトを実現した。また、口元スペースが広く、圧迫感がないのも嬉しい。安全に配慮したステンレス製マイクロラチェット式バックルも備える。内装は、吸湿速乾素材のHYGRAを用いた着脱式だ。



BOREALIS  
6万5000円



## TANIO × SHOEI

■税抜き価格：4万2000円  
■サイズ：S、M、L、XL ■色：橙

Z-6  
6万5000円

Z-7の前身となるモデルで、軽量コンパクトな帽体の特徴。谷尾とのコラボモデルとなるオレンジのみ、まだ購入可能。



JIS  
SG

## YAMAHA × SHOEI

■税抜き価格：5万4000円  
■サイズ：S、M、L、XL ■色：青、赤、黒

XR1100  
YAMAHA  
6万5000円

SHOEIとヤマハのコラボモデルで、スピード感をデザインしたオリジナルモデル。側頭部にヤマハのロゴが入っている。



JIS  
MFJ公認  
SG

# QWEST

■価格：3万4000円(単色)  
■サイズ：XS、S、M、L、XL、XXL  
■色：白、黒、艶消し黒、灰、赤、艶消し灰

JIS  
SG



## トータル性能に秀でたSTDモデル

同社フルフェイスのベーシックモデルの位置付けながら、実力は十分。帽体は、不快な風切り音を抑制するフラッシュサーフェイス化されたAIM構造を採用。頭頂部と口元には、ワイドなエアインテークを備える。シールドとアイポートを密着させるQRSシステムや、チンカーテンも上級モデル譲りだ。内装は、やさしく包み込む3D成形センターパッドで、頬パッドとチンストラップカバーが脱着できる。ピンロックシートも付属。



PRESTIGE  
4万2000円

ASCEND  
4万2000円



BLOODFLOW  
4万2000円



ESPOIR  
4万2000円



GLIDED  
発売予定